



短歌

末武 有二 選

畑は荒れ轍の道は行き来なく夏草高し郷変り
たり 安永 守住 孝子
初物の栗はつやめき「美味しそう」秋の夕餉の
栗飯旨し 惣領 島田 廣子
静謐な師のアトリエにテレピンの匂いの満ち
て深く息する 木山 赤城 香織
初手紙宛名を書いて知ったよう爺じと婆はに
名のあることを 木山 本田 龍子
年の瀬は後悔・希望織りませて振り向く間も
惜しみ過ぎる 馬水 倉本研一郎
久々に夜空を飾りはじけてる意気な花火に心
がはずむ 馬水 増田 訓子
懐かしい刈穂の跡に燦りて向うの明り団欒に
見ゆ 安永 中原 義一
古里の友が駆けつけ訛りでる静かな部屋に秋
の陽がさす 広崎 大原 郁
唱歌を三味の音で聞き口ずさみ思い返すは故
郷の景色 広崎 日野ヒロ子
尋ね行く朝突く梵鐘光宗寺砥川の里に柿は色
付く 惣領 甲斐 道夫
コンサート久々の夜は胸ときめきてきれいな
声は紅葉も散った 赤井 米沢 さわ
刈取の作業終った稲田には優雅に羽ばたく白
鷺が舞ふ 赤井 増岡 伸禧

俳句

河野 全平 選

父母は逝きモクセイ薫る古き家
ブラジルの地守り継がれて秋日和
庭先で蝶たわむれる小春かな
夕暮れのツルべ落としはやはり秋
秋寒やふとんを抱きて寝る子らよ
キンモクの匂いはすでに風の中
盃に名月招き一人酒
栗の渋指に残して栗ご飯
秋風や今日こそ行くぞ五色山
清流の四万十川の釣大会
木山 鎌田 隆子
古閑 今村 恒心
広崎 大原 郁
広崎 辻 恵美子
木山 本田 龍子
惣領 阪口由美子
赤井 増岡 酔粋
惣領 野宮 逸吉
宮園 中川セイ子
木山 太公望春夫

川柳

布田川左門 選

大相撲新大関の快記録
病院で「異常ナシ」とて手のふるえ
雲海の機上の仙人夢心地
友逝きてビールで送る秋の夜
気の早いおせち料理のチラシかな
泥団子供えて孫とする月見
ニッポンのトラランプ訪問ダメらしい
裏金に勝てぬ野党のナサケなさ
良夜なりいつもの人と夕食を
赤井 米沢 さわ
18歳の選挙民
アメリカファースト
北酒場
松田 三郎
木山 松田 三郎
泥団子供えて孫とする月見
ニッポンのトラランプ訪問ダメらしい
裏金に勝てぬ野党のナサケなさ
良夜なりいつもの人と夕食を
赤井 米沢 さわ
18歳の選挙民
アメリカファースト
北酒場
松田 三郎
木山 松田 三郎

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場広
報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

益城の文化財
町文化財保護委員会



令和6年度文化財企画展

タイムカプセルにお願い
～弥生のムラから時を超えて～

交流情報センターミナテラスで
毎年開催している文化財企画展も
今年で6回目となりました。今回
のテーマは「弥生時代」です。
熊本地震の被害により建て替え
となった町役場庁舎の造成工事に
際し、実施した発掘調査で弥生時
代の甕棺墓が発見されました。
今回の展示は、その庁舎敷地の
下で眠っていた二千年前の弥生時
代の遺跡をテーマにしています。
弥生時代は稲作が始まり、日本
における農村の原風景が誕生した
時代でもあります。石材や木材、
金属などを材料としたさまざまな
道具が生まれ、中には現在でも使
い続けられているものもあります。
展示品は、町内の遺跡から出土
したものをはじめ、近隣自治体か
ら貴重な遺物をお借りしました。
中でも、秋永遺跡(益城町小池)